

穂の 城散歩

本丸門



本丸天守台からの展望

国史跡 赤穂城跡

浅野長直の指示によって慶安元年（1648）から13年の歳月をかけて築かれた赤穂城は、藩の家老で軍学師範の近藤正純が設計したものです。そのうち二之丸門虎口の縄張は、当時の著名な軍学者であった山鹿素行の手が加えられたと伝えられています。このように、現在に残る赤穂城は甲州流軍学にしたがって築かれた城であり、徳川幕府がはじまって約50年後に築かれたにもかかわらず、その構造は戦を強く意識しており、複雑に折れ曲がる堀や石垣、角度を違える諸門に特徴があります。

明治以降赤穂城は民間に払い下げられましたが、昭和27年の都市公園としての都市計画決定、昭和46年の国史跡指定をきっかけに公有化と整備が進められています。現在では本丸門、厩口門が復元され、大手門、水手門跡の復元整備、二之丸南側は都市公園として花見広場の整備が進むなど、新しい城跡としてよみがえりつつあります。また、本丸庭園は近年発掘調査された二之丸庭園（錦帯池）とともに、平成14年、国の名勝に指定されました。今後は二之丸庭園の復元整備を中心にして、赤穂市のシンボルにふさわしい整備を実施していく計画です。年月を重ねるにつれて往時の姿を取り戻す赤穂城跡をお楽しみください。



厩口門



大手門と大手隅櫓

城内には、大石良雄宅跡長屋門や近藤源八宅跡長屋門などの江戸時代から続く建造物をはじめ、本丸庭園、武家屋敷公園、赤穂義士らを祀った大石神社、義士たちの居宅跡を示す説明板などがあります。また、城周辺では義士・塩業関係の展示がある赤穂市立歴史博物館や、義士の墓碑、宝物館が見学できる花岳寺なども訪ねてみてはいかがでしょうか。

赤穂の歴史散策を終えた後には、城内を南に歩いて石垣の美しさを堪能しつつ、花見広場で一息入れるのがお勧めです。さらに水手門を出て、江戸時代には海に面していた赤穂城を眺めるのも良いでしょう。



お問い合わせ

赤穂市教育委員会
生涯学習課 文化財係
〒678-0292 兵庫県赤穂市加里屋81番地
TEL 0791(43)6858 FAX 0791(43)6895

本丸庭園(名勝)

播州赤



大手門

赤穂城の表玄関。門、隅櫓、土塀は昭和30年に復興のもの。まずは、平成15年に整備された番所跡休憩所にお立ち寄りください。



近藤源八宅跡長屋門(市指定文化財)

城内に残された江戸時代の建物として、向かいの大石良雄宅跡長屋門とともに当時の城内景観を現在に伝えています。



赤穂大石神社

赤穂歴代藩主、赤穂義士らを祀る神社。大正元年（1912）創立。大石良雄宅跡（国史跡）、義士宝物殿などが見学できます。

赤穂城跡全体図

(2003年3月現在)



本丸門

平成8年に門、土塀が復元されました。本丸内では御殿間取りの見学や、池泉を中心とした本丸庭園（国名勝）が鑑賞できます。



歴史博物館

赤穂城の米蔵をイメージした博物館。「塩」「赤穂義士」「城」「赤穂上水道」をテーマとし、赤穂製塩用具は国の重要文化財です。



花見広場（元禄桜苑）

遊水池と、元禄初期の桜13種を含め200本を超える桜が見処となっています。米蔵跡休憩所でちょっと一休みして水手門へ。